

平成 28 年度

滋賀県高次脳機能障害支援センター 研修会

高次脳機能障害があっても地域で暮らす

～医療と地域でできること～

平成 28 年 7 月 18 日(月・祝) 13:00～16:30
12:30 受付開始

コラボしが 21 大会議室

(大津市打出浜 2-1) ※裏面地図参照

参加費
無料

どなたでも
ご参加いただけます

13:05～

「高次脳機能障害ってなに？」

～医療から地域へ～

渡邊 修氏 (東京慈恵医科大学付属第三病院 リハビリテーション科 診療部長/教授/医師)

14:50～

「地域が出来る高次脳機能障害への支援

～施設での取り組みを通して～」

山河 正裕氏 (社会福祉法人 豊中きらら福祉会 工房「羅針盤」 施設長)



脳出血や脳梗塞などの脳の病気や交通事故などにより脳が傷つき、新しい事が覚えにくくなったり、複数の事が同時に出来なくなる、感情のコントロールが難しくなるなどの症状が現れることがあります。それらの症状を「高次脳機能障害」と呼びます。以前は当たり前に出ていた事が難しくなるため、本人や家族だけでなく周囲の人々や支援者も困ってしまう事も多く見られます。

最近では「高次脳機能障害」という名前も少しずつ知られるようになってきました。そんな中で、高次脳機能障害をかかえながらも自分に合った働き方・過ごし方で住み慣れた地域や家族と暮らしている方も増えてきています。

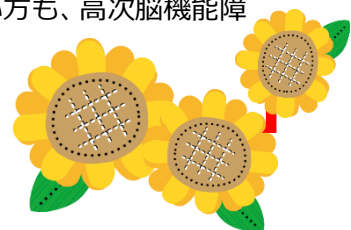
今回は「高次脳機能障害ってなに？」という基本的な部分から、地域で暮らしている高次脳機能障害の方への支援方法についての研修会を開催します。

講師は、長きに渡り高次脳機能障害の支援をされてきた 2 人の専門家をお招きします。

渡邊修氏は、東京慈恵医科大学第三病院の高次脳機能障害専門外来で医師として高次脳機能障害に携わってこられました。渡邊氏には医療の立場から「高次脳機能障害の基礎」や「地域で暮らしていくために出来ること」についてお話いただきます。

山河正裕氏は現在、高次脳機能障害の方が中心に利用されている作業所、工房「羅針盤」の施設長として高次脳機能障害の支援をされています。地域で生活をされる高次脳機能障害の方々について「現在まで取り組んできたこと」や「作業所としてどんな事ができるのか」をお話いただきます。

ご家族・当事者の方や高次脳機能障害の支援に取り組んでこられた方もそうでない方も、高次脳機能障害についてご興味のある方はどなたでもご参加ください。



平成 28 年度 滋賀県高次脳機能障害支援センター 研修会
参加申込書

◇申し込み先 **FAX : 0 7 7 - 5 0 2 - 2 4 8 0**
滋賀県高次脳機能障害支援センター 宛て

ふりがな ご氏名	ご所属等		ご連絡先
	・当事者 ・ご家族	ご所属 ご職種	
	・当事者 ・ご家族	ご所属 ご職種	
	・当事者 ・ご家族	ご所属 ご職種	

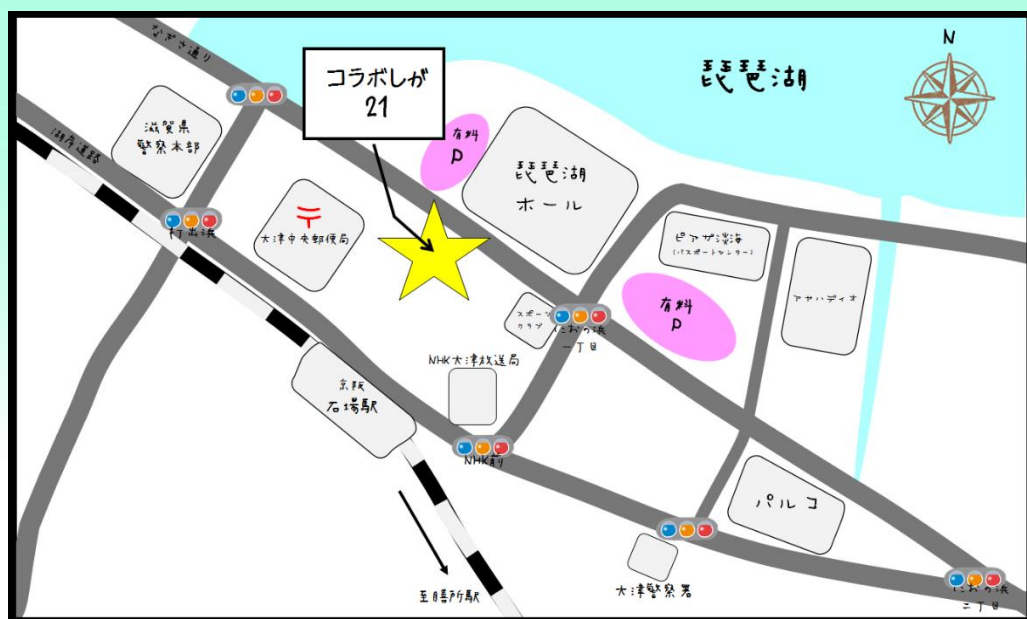
※本研修は「高次脳機能障害専門研修」の公開講座を兼ねています。専門研修受講者は必ず参加してください。

※当該日の午前10時の時点で滋賀県全域において「特別警報」「大雨警報」「暴風警報」発令中の場合、中止とします。

※参加申し込みが定員を上回り受講いただけない場合のみ、こちらからご連絡させていただきます。

※今回ご提供いただいた個人情報は本研修会で必要な事務運営以外には使用いたしません。

会場までのアクセス



コラボしが 21 大会議室 (大津市打出浜 2-1)

JR 琵琶湖線「膳所」駅より徒歩約15分

京阪電鉄「石場」駅より徒歩約3分

☆お車でのお越し方へ

周辺の有料駐車場へ止めていただく
ことになります。コラボしが 21 の
駐車場には駐車できませんので、お
越しの際はなるべく公共交通機関を
ご利用ください。

【お問い合わせ/お申込み】

滋賀県高次脳機能障害支援センター

TEL : 077-561-3486 FAX : 077-502-2480

E-Mail : koujinou_200606@glow.or.jp

担当：田邊・三田村

申込み締切日

平成 28 年 7 月 11 日

(定員 200 名)